

# 数学

立命館大学 全学統一方式 [文系] (2/2実施)

## <全体分析>

試験時間

80 分

解答問題数

3 題

### 解答形式

I・IIは空所補充形式、IIIは記述形式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

### 出題の特徴

計算量が多い

### その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

読解力が問われる長文問題が出題されている

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I				
[1]	図形と方程式	数II	不等式と領域、領域と最大・最小	やや難
[2]	確率	数A	最大値・最小値の確率	標準
[3]	微分法・積分法	数II	放物線の接線、放物線と2接線の囲む部分の面積	標準
II	数と式	数I	平方根の評価、ガウス記号	標準
III	数列	数B	漸化式 (誘導つき)	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

Iの小問集合は難易度はさほど高くないが作業量が多いので典型問題を多く解き、素早く正確に計算できるようにしておこう。

IIのような日常のテーマに対して数学的モデルを設定して考えさせる問題は題意を把握する読解力が問われる。長文問題にも積極的に取り組み自分で問題を分析する力を養っておこう。